

昭和



みんな野球が好きだった……。



よこはま ベースボール・シティ横浜 ハマと野球の昭和史

【●……………開館10周年記念特別展……………●】

2013年2月2日(土)～4月7日(日)

●主催／横浜都市発展記念館 ●共催／横浜市教育委員会、横浜開港資料館 ●協力／横浜スタジアム、横浜DeNAベイスターズ、横浜市体育協会 ●後援／朝日新聞横浜総局、神奈川新聞社、日本経済新聞社横浜支局、毎日新聞横浜支局、読売新聞東京本社横浜支局、NHK横浜放送局、tvk、FMヨコハマ

●開館時間／午前9時30分～午後5時00分(入館は午後4時30分まで)
●休館日／毎週月曜日および2月12日(火) [*2月11日(月)は開館]
●入館料／一般300円、小・中学生150円(常設展も含む) [*毎週土曜日、横浜市内の小・中学生と高校生は無料です。]

横浜都市発展記念館
Museum of Yokohama Urban History

〒231-0021 横浜市中区日本大通12
TEL.045-663-2424 / FAX.045-663-2453
<http://www.tohatsu.city.yokohama.jp/>



横浜 PHOTO YOKOHAMA
フォト・ヨコハマ2013

- 今日、わたしたちの趣味や娯楽は多様化していますが、昭和の時代、日本でもっとも人気のあるスポーツといえば野球でした。
- さまざまなスポーツが西洋から最初に伝えられた横浜では、Y校を中心に学生野球が早くから活発化し、昭和はじめには「ハマの早慶戦」と呼ばれる定期戦にまち全体が夢中になりました。また、一般市民や実業団による野球が盛んだったことも港湾・工業都市、横浜の特徴です。このような風土のもとで、戦後の高度経済成長期には、横浜を含む神奈川地区は「野球王国」と呼ばれるようになりました。日本が高度成長を終え、成熟の時代へと移ると、横浜に新しくスタジアムが建設され、プロ野球の球団が初めて横浜を本拠地とします。
- この特別展では、都市の文化としての野球を取り上げ、昭和を中心に横浜におけるそのあゆみを紹介します。

展示内容

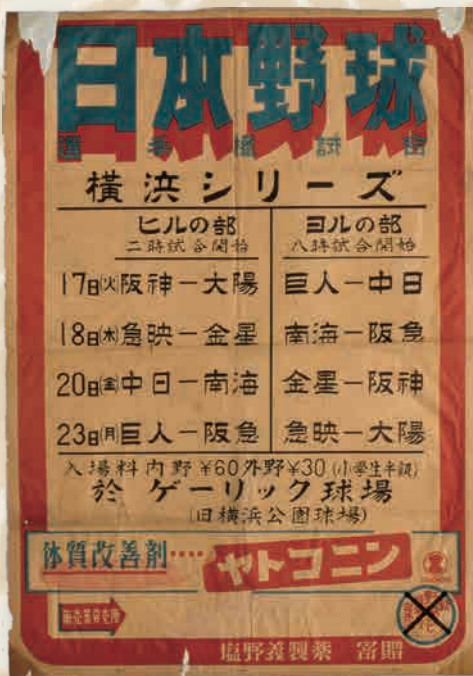
第Ⅰ部 ベースボールに沸く横浜のまち

- (1) 甲子園に向けて
- (2) 次々に生まれる市民の野球チーム
- (3) まちじゅうが夢中になった「ハマの早慶戦」
- (4) 横浜公園に建設された野球場
- (5) アメリカ大リーグの来日と職業野球の開幕

第Ⅱ部 都市のシンボルとしての球団とスタジアム

- (1) 「ゲーリック球場」から「平和球場」の時代
- (2) プロ野球の興隆
- (3) 「野球王国」横浜・神奈川
- (4) 横浜スタジアムと横浜大洋の誕生
- (5) ホエールズからベイスターズへ

● 映像コーナー *映像コーナーの一部は、当館1Fギャラリーにて無料でご覧いただけます。



ベースボール・シティ横浜 ハマと野球の昭和史

- ① Y校野球部の記念ボール／昭和15(1940)年頃 / 花房幸秀氏寄贈・当館所蔵
 - ② 日本プロ野球初のナイターのポスター(「日本野球選手権試合横浜シリーズ」)／昭和23(1948)年／野球体育博物館所蔵
 - ③ 横浜公園平和球場と市電／昭和30(1955)年頃／長谷川弘和氏撮影
 - ④ 横浜公園平和野球場の看板／昭和戦後期／横浜スタジアム所蔵
 - ⑤ 『FAN』／大正10(1921)年／当館所蔵
 - ⑥ 日米野球の切符／昭和9(1934)年／山岸茂幸氏所蔵
- [オモテ図版] 右上・中＝神奈川新聞社提供
● [オモテ図版] 右下＝綿谷寛氏画・網島理友事務所所蔵

担当者による展示解説

- ① 2月3日(日)、② 2月17日(日)、③ 3月3日(日)、④ 3月31日(日)
- 各回午後2時00分より *ご参加には入館料が必要です。

ワークショップ

毎週土曜・日曜日と祝日は、「ストラックアウト」と野球盤・双六などに挑戦してみよう。当館1Fにて開催。
*参加料無料、申し込み不要です。

関連事業

写真パネル展「プレイバック大洋・横浜」

ホエールズからベイスターズまで、往年の名選手・名場面などの写真パネル展を開催します。
● 会期：2013年1月29日(火)～4月7日(日)
● 会場：当館1Fギャラリー(入場無料)

横浜スタジアム&ミュージアム 見学ツアー

当館特別展「ベースボール・シティ横浜」を観覧した後、横浜公園まで歩き、横浜スタジアムのグラウンドやベンチ、ブルペンなどを見学するツアーです。詳細は2月下旬以降に当館ホームページに掲載します。
● 日程：2013年3月に数回実施の予定。
● 参加料：一般1,300円、小・中学生650円

開館10周年感謝イベント

おかげさまで開館10周年。戦前の野球の試合映像を上映するほか、紙芝居・バントマイムなど様々な催しを行います。詳細は当館ホームページをご覧ください。この2日間は入館無料です！
● 共催：横浜ユーラシア文化館
● 日程：2013年3月9日(土)、10日(日)
● 会場：当館、横浜情報文化センター1F情文プラザ



● 交通アクセス ●
東急東横・みなとみらい線日本大通り駅(3番出口)0分
横浜市営地下鉄ブルーライン関内駅(1番出口)から徒歩約10分
JR京浜東北・根岸線関内駅(南口)から徒歩約10分
横浜駅から横浜市営バス「日本大通り駅南口」下車徒歩1分

● 当館と横浜開港資料館の両企画展に入場された方には、オリジナル絵はがきを差し上げます。(展示期間中、団体の利用をのぞく、先着1,000名様)

『近代横浜スポーツ』

スポーツが
やってきた!

会場 ● 横浜開港資料館／横浜市中区日本大通3
会期 ● 2013年1月30日(水)～4月21日(日)
入館料 ● 一般200円、小・中学生100円
お問い合わせ ● 横浜開港資料館／TEL.045(201)2100

【関連展示】横浜開港資料館企画展